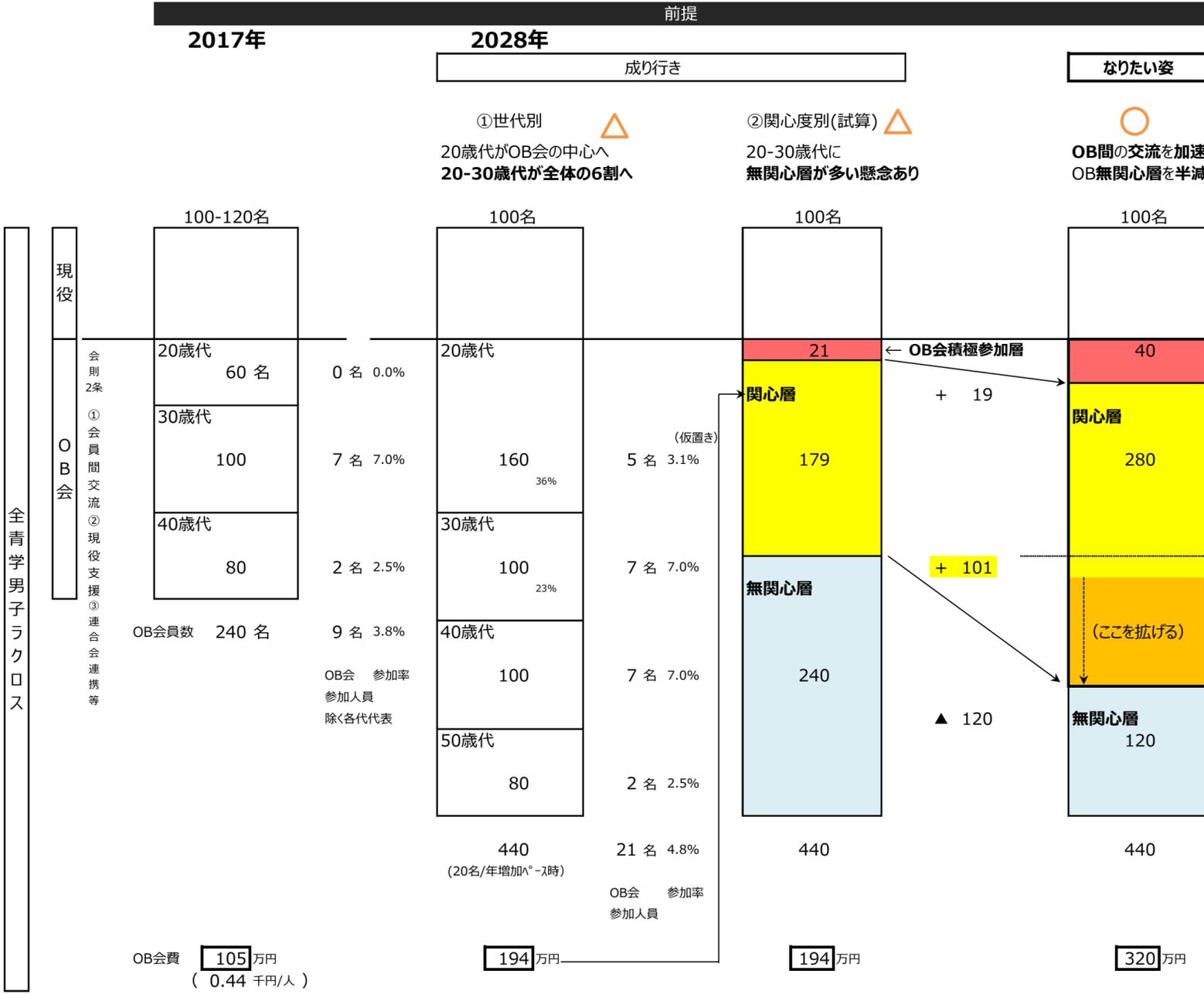


■ 青山学院大学男子ラクロス部・OB会 2028年ビジョン

『未来になりたいOB会の状態』を考え、単年毎に何を積上げていくかを定める
 考える人 - OB会長 幹事長 幹事 HC 各委員会事務局 各代代表 一人ひとり

どんなビジョンを掲げ、どれほど多くの人を巻き込めるか
 - 未来イメージに繋がっていくビジョンを一人ひとりが心に刻み活動できるか

(青学ラクロスの)
未来イメージ



<全員の願い> <案一例> <最終案>

常勝青学の構築
 関東学生リーグFinal4常連校
 関東学生リーグ優勝
 全日本学生選手権優勝

【想い】 (OB会として初めて常勝青学をビジョン化し社会人を巻き込む)

社会人向けには上記過程の先に、青山学院・ラクロス界国際社会で活躍する人材輩出といった目標を発信し理解をもらう

2028年 ロス五輪 ラクロス正式競技化 AGULAXから日本代表輩出

【想い】 (社会人になった後も、OB会に貢献したいという領域を予め拡大しておく。五輪という機会を最大利用する。)

個人つばいビジョン。五輪は利用してよさそうでも、これだけじゃなさそう

文武両道で自由闊達ながらも社会の規律規範を重んじ自律的に思考し責任をもって活動出来る人間の集団

会員を鼓舞するビジョン ?

- 1 良いマイナー感 (尖った感)
- 2 ファッション性
- 3 チームスポーツ
- 4 ベンチャーマインド
- 5 自主性
- 6 地上最速格闘競技
- 7 危険性
- 8 用具コスト高 (輸入)
- 9 グラウンド使用許可増
- 10 コーチングスキル専門性
- 11 プロ化困難
- 12 ボランティア
- 13 企業好評価
- 14 文武両道
- 15 公平さ 真摯さ
- 16 透明度・正直
- 17 チャレンジ精神
- 18 就職No.1スポーツ
- 19 国際性No.1スポーツ
- 20 海外遠征
- 21 海外コーチ複数名来日
- 22 国際親善試合複数回開催
- 23 海外チーム来日頻度増
- 24 アジア拡大・リーダー
- 25 日本 世界ランクNo.3
- 26 2026年W杯東京大会
- 27 高校生ラクロス全国大会
- 28 テレビ・ネット放送化
- 29 愛校精神
- 30 経営者
- 31 産官学リーダー
- 32 スポーツ界リーダー
- 33 28年ロス五輪正式競技化

部外者からの共感を頂ける
 ビジョンかどうか?

| | | | |
|-----|------|-------------------------|------|
| ご父母 | 17千人 | 日本ラクロス協会 競技人口 | 50千人 |
| | | 青学体育会OB連合会 | 15千人 |
| | | 青山学院大学 在学18千人 校友会330千人 | |
| | | 学校法人 青山学院 大学院 高等部 中等部ほか | |
| | | スポーツ庁 (日本版NCAA候補大学採択) | |

米国ラクロス協会
 国際ラクロス連盟
 個人寄付者
 企業
 JOC

内部環境
 外部環境

全青学男子ラクロス

ステークホルダー

■18/5月 日大アメフト部の事象を自分達事化して振り返ってみる

何時でも議論できるよう頭を整理

| カテゴリ | 関係者 | 17年 | | | | | 18年 | | | | | 20年 | 青山学院 中長期ビジョン | | ”未来への備え”としてのAGULAXの学び・提案 | | | | | | |
|--------------|---------------------------------|-----|----|----|----|-----|-----|-----|----|----|----|-----|---|---|--------------------------|----|-----------------|---|--|--|--------------------------------------|
| | | 6月 | 7月 | 8月 | 9月 | 10月 | 11月 | 12月 | 1月 | 2月 | 3月 | | 4月 | 5月 | | 6月 | Key Messages | | | | |
| 学校法人 青山学院 | 理事長 | | | | | | | | | | | | ▼16 新経営宣言 https://www.aoyamagakuin.jp/info/news/2017_23 | | | | 新経営宣言 万代基金 | 10点満点の愛校心 | 世界基準の有名大学へ挑戦 Be The Difference = 生き残りへの危機感 | | |
| 大学 | 学長 | | | | | | | | | | | | ▼7 文武両道へ段上げ(三木) | | | | ↑ (理事長と同期化) | 文武両道段上げ University Identity (UI) 確立 | 青山らしき追求 自由闊達・融通無碍・至誠・質直 | | |
| | スポーツ支援課 | | | | | | | | | | | | ▼4 海野課長 16/10月発足、全4名。AGUの文武両道を高めるべく三木学長の後押しで組織化 スポーツ庁や2020年オリパラへの貢献を見据え、組織化の目的を学生支援として立上 学生からすると、積極的に情報交換する組織 | | | | ↑ (走りながら考える) | AGUの社会貢献度向上 (五輪ほか) | 早慶と異なる 中規模大学の戦い方 各部 個別最適 から 全体最適 へ 体質変化 一例 チームカラー・マスコット共通化 | | |
| | 顧問 熊谷先生 | | | | | | | | | | | | ▼22 4-9月報告 | | | | ▼XX | 学長方針フォロー | しなやかな連携の母体作りが理想 | | |
| | ラクロス 女子 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 卒業生 | 男子 | | | | | | | | | | | | ▼2 ▼3 事前連絡 チーム候補紹介 5候補 by 関口HC 「愛着がわく名前だといいですね」 主体性への期待を返信(温湯) | | | | | | 文武両道で自由闊達ながらも 社会の規律規範を重んじ 自律的に思考し責任をもって 活動出来る人間の集団 | | |
| | OB | | | | | | | | | | | | ▼24 OB総会 | | | | | | | 自クラブだけではなく 体育会OB全体一丸化に貢献 | |
| | OG | | | | | | | | | | | | ▼15 中長期ビジョン案 ドラフト | | | | | | | 女子の強みを最大化 | |
| | | | | | | | | | | | | | ▼5 中長期ビジョン案 各代表発信 | | | | | | | | |
| | | | | | | | | | | | | | ▼24産業勉強会 ▼20産業勉強会 ▼26ABM活動 | | | | | | | | |
| | | | | | | | | | | | | | ▼17産業勉強会 | | | | | | | | |
| | 体育会OBOG 連合会(R) | | | | | | | | | | | | ▼7 総会 | | | | | | | (改革協議委員会設立の動き) 世界基準の大学を目指すという 新経営宣言の 最大貢献団体 でいたい 論理的思考 で 実行力 ある体育会の 後輩育成 OBOGの 有識者 探索/講演から 知恵 を借りたい 五輪機会の最大化を狙いたい 外部に伝えやすい体育会 一丸化の象徴 提示 (チームカラー・統一・マスコットを育てる発想は不可避か) | |
| | | | | | | | | | | | | | ▼4コーチズセッション 学スポ課取組み方針 | | | | | | | | |
| | | | | | | | | | | | | | ▼9 原晋氏(特別研究員) 一般体育会各部 (約45部 含むラクロス部)は、 OB会との交流・論理的思考の訓練 が必須で、 指定強化部とは異なり広報的役割、勝つこと等の優先順位は低い | | | | | | | | |
| | | | | | | | | | | | | | ▼14 三木学長xOB会長18年度基本方針(案) | | | | | | | | |
| | | | | | | | | | | | | | ▼2 ▼7 山口幹事長報告 松永会長報告 連合会の苦勞を理解するためにあえて校友会に飛び込み、連合会に恩返しする(温湯) | | | | | | | | |
| | | | | | | | | | | | | | ▼6 総会 | | | | | | | | |
| | 校友会 | | | | | | | | | | | | (大学設備使用検討) | | | | | | | 学びを通じ、青山らしさを後輩(縦)だけではなく 会員同士(横)の連携強化 で実現 親睦のみ を続ける校友会なら利用後に 退会 | |
| | | | | | | | | | | | | | ▼13 校友会センター打ち合わせ | | | | | | | | |
| | | | | | | | | | | | | | ▼9 校友会参加 | | | | | | | | |
| | | | | | | | | | | | | | ▼25 新経営宣言・交友への期待 | | | | | | | | |
| 外部環境 | 世論 日大 選手 幹部 関学 幹部 親 | | | | | | | | | | | | | ▼7ネット拡散 *13日間 ▼6 定期戦 ▼17指示否定 ▼20辞意 ▼18消えない疑念 ▼父被害届 | | | | | | | 古い体質継続 学生へ責任転嫁 大学ガバナンス欠如 …… |
| | | | | | | | | | | | | | ▼23選手会見 ▼24監督・コーチ会見 ▼26学長会見 ▼29 監督・コーチ 除名 ▼27矛盾指摘 ▼28KG選手復帰 | | | | | | | 新しい考え方の取り込みと組織活性化 学校法人と学生を守る弁護士準備 コンプライアンス学習の継続 事故時の治療代負担 競技保険整備 …… | |

どの領域に貢献できますか？
大学全体に貢献できますか？

▼2 ▼3
事前連絡 チーム候補紹介 5候補
by 関口HC
「愛着がわく名前だといいですね」 主体性への期待を返信(温湯)

▼24 ▼25
チーム名決定 確認・念押し
Greenhorns(仮)

(100人チーム安定運営)
目指すものを腹を割って話し腹に落とす

DRAFT案
33項目ゴール

高い専門知識を駆使し
行動を通じ後輩を育成
青山学院へ貢献

女子の強みを最大化

■ AOYAMA VISION について ～世界のAGUへのロードマップ 2018年7月20日 青山学院大学HP掲載

青山学院大学は、先行きが見通せない今、社会により良い未来への道筋をリードする「世界のAGU」を目指します
 「世界のAGU」の実現には、本学教職員のみならず、校友・学生をはじめ、本学に関わるすべての方々のご協力が重要です — 三木学長

↓ 常に正しい道にそって活動できているかを考える

| 10 ACTION | | 主な内容 | 捉え方・疑問ほか | AGULAX-Aの貢献活動 | 取組時期 | 新経営宣言 |
|-----------|------------------------------|------------------------------------|---|---------------------------------------|------|-------------------|
| 1 | AGU アカデミック・シティー構想 | 日本の大学図書館の中で最も先進的なサービスを提供 | 校友は何をどう設備使用することを期待しているか 分かりやすく伝わると良さそう | 20年青学OB杯東京大会・海外チーム受け入れとか | | Be the Difference |
| 2 | 先端研究への挑戦と次世代研究者の育成 | 学外資金などに基づく総合プロジェクト研究所 | 金融技術研究、未来材料化学、 国際交流・地域情報研究センターに貢献できるか | ラクロスOBOGが貢献すべき領域の検討 理工学部卒をリーダーとか…… | | |
| 3 | 地域公共精神の涵養と 社会を支えるリーダーの育成 | ボランティア活動を通じた、当事者意識とリーダー育成 | サービスラーニングとは何をどこまで期待しているものか | | | |
| 4 | グローバル・プレゼンスの確立 | 2024年までに40カ国以上200以上の大学と協定締結 | ラクロス部の学生の10%以上が海外経験できているかモニター | | | |
| 5 | 多様化する教育ニーズへの対応 | 地域社会の活性化 をテーマに学部新設 | 社会人のためのリカレント教育に貢献できるか、 産業勉強会は専門性あるか | | | |
| 6 | 情報化社会における人文知の模索 | 民主主義社会の健全な発展 青学TV活用 | 青学TVとラクロスOBOGとの接点探し | | | |
| 7 | AGUで日本の心を学ぶ —国際日本研究の拠点作り— | 留学生受け入れのための日本研究プログラム開設 | ラクロス海外チーム受け入れ時にプログラムの一片を流用する条件は何か | | | |
| 8 | 青山グローバル・スタンダードの開発と展開 | 青山スタンダード 多言語話者の育成 w/東京外国語大学協定 | OBOGとの接点探し | | | |
| 9 | ライフプランを見据えた就職支援強化 | 入学初年度からのキャリア開発支援 キャリアデザインセミナー受講 | 会計士・弁護士など第一線で活躍するOBOGとの接点・進路決定 | | | |
| 10 | 知の発展を手助けし学ぶ者に寄り添う事務体制 | 職員のグローバル化、語学研修、女性の活躍支援 | OBOGが何を側面支援すると加速できるか | | | |